

豊かな海は 豊かな森から



6月27日、28日の2日間、あじさいの咲き誇る板取21世紀の森公園において、「板取あじさい村フェスティバル 2009」が開催され、約1万人の来場者でにぎわいました。来年の「全国豊かな海づくり大会」の開催

を記念して海づくりに関するさまざまなイベントが行われ、会場には海づくり大会マスコットキャラクターの「ヤマリン」も登場。参加した子どもたちと一緒に、豊かな森づくりのため公園内に記念植樹を行いました。

あんな事、こんな事

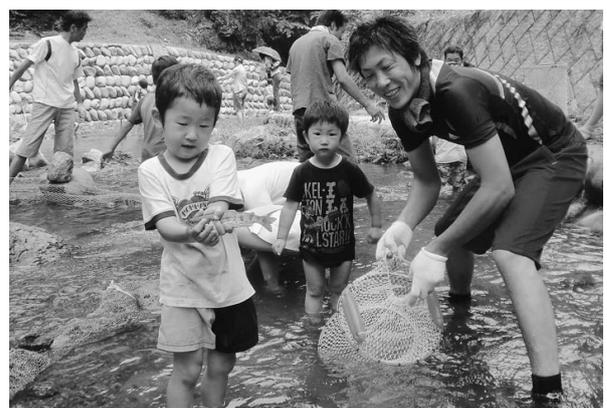


あこがれの選手に教わって

わかさ・プラザ「総合体育館」で、プロビーチバレーチームWINDSによるバレーボール教室が開催され、バレーボールスポーツ少年団、中学校バレーボール部、ママさんバレーなど16団体161人が参加しました。指導にあたったのは、WINDSのメンバーの西村晃一さん、今井啓介さん、菅山かあるさんの3人。練習のあと、各チームはWINDSを相手にミニゲームを行いました。

親子でアマゴつかみに挑戦

今年度リニューアルオープンしたネイチャーランドかみのほ(旧やすらぎの郷)で「アマゴのつかみどり大会」が開催されました。ネイチャーランドかみのほは、地元住民で構成する管理組合が指定管理を受けて運営しており、この大会が記念すべき第1回目のイベントでした。参加者の多くは親子連れで、放たれた550匹のアマゴを協力して捕まえていました。





初夏の味覚を味わって

洞戸保育園の年長、年中園児 29 人が、洞戸飛瀬の野村久良さんが所有する果樹園でブルーベリーの摘み取り体験をしました。野村さんから摘み取りの仕方を教わったあと、園児たちは紫色に実ったブルーベリーを摘み取っては口にほおばり、中には舌が紫色になる園児もいました。そんな姿を見ていた野村さんは、来年も園児を招待したいと話していました。

安全で安心な水を届けます

迫間の下迫間地区で「不動の森上水道」の竣工式が行われ、地元住民や工事業者など 50 人が出席しました。この上水道は全長約 2 キロで、迫間不動尊や飲食店などがある「ふどうの森」まで高低差約 120 メートルの高所へ水道水を送ります。式ではテープカットのあと、市長と小野木郁夫下迫間区長がポンプのスイッチを入れ、迫間不動尊の関係者も含めて完成を祝いました。



すごろくで学ぶ水の循環

水の循環について学びながら、水と生活のかかわりを楽しみながら知る、(株) INAX による出前講座が瀬尻小学校で行われ、5 年生が受講しました。この講座は、県が推進している「企業との協働による森林環境教育」の協定第 1 号として、県内で初めて開催されました。児童はすごろくやクイズを通して、水の大切さについて学びました。

鮎の友釣り体験

神野の津保川・神野橋付近で地元の富野中学校 2 年生が鮎の友釣りに挑戦しました。津保川漁業協同組合富野支部と NPO 法人長良川友釣り普及振興会から合わせて 9 人の方が指導し、生徒らは友釣りの説明を受けたあと、長さ 8 メートルのさおとおりの鮎を付けてもらって川に入り、声も立てずに真剣な表情で当たりが来るのをじっと待っていました。



こぼれ話



板取あじさい村フェスティバルの取材に行って来ました。広報取材に出掛けるたびに不思議に思うことがありました。板取へ向かう国道 256 号線～白鳥板取線にかけて、いわゆる「アジサイロード」を走ると道路脇に次々と色鮮やかなアジサイの花が連なっています。洞戸から板取の入り口付近までは赤やピンク、紫などまさに七変化と呼ばれるに相応しい彩り鮮やかなアジサイたちですが、板取に

入り北上するとだんだん青い花が多くなってきます。目的地の 21 世紀の森公園に到着すると園内には見事に咲きそろったアジサイを見ることができますが、花は真っ青です。アジサイは土壌が酸性だと青い花が咲くと聞いたことがあります。(日本の土壌はもともと酸性が強いということですが・・・)山裾に広がる一面の青いアジサイを写真に収めると、一瞬「海」を連想させます。皆さんも来シーズンは、板取の山奥で「青い海」を見つけに出掛けませんか。